
第120回日本解剖学会総会・全国学術集会
第92回日本生理学会大会 合同大会
協賛・募金趣意書

第120回日本解剖学会総会・全国学術集会

会 頭 河田 光博 (京都府立医科大学 大学院医学研究科 解剖学教室 生体構造科学部門)

第92回日本生理学会大会

大会長 岡村 康司 (大阪大学 大学院医学系研究科 生理学講座 統合生理学教室)

ご挨拶

謹啓 時下 ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度、第120回日本解剖学会総会・全国学術集会 第92回日本生理学会大会 合同大会を神戸にて開催させていただくことになりました。会期は、平成27年3月21日(土)、22日(日)、23日(月)の3日間で、会場は神戸国際会議場及び展示場です。担当者一同、有意義な大会となりますよう鋭意準備を進めております。多くの皆様のご参加を心から歓迎します。

基礎医学・歯学の基幹である解剖学と生理学は、身体の構造と働きを扱うサイエンスで、その歴史も古く、また、現代的意義も大変大きい学問です。どちらの学領域も今日においては、分子からシステムまでをカバーしており、お互いに補完的な関係にあります。

2011年3月に、長い歴史を持つ解剖学会と生理学会が初めて合同大会を開催する予定でしたが、東日本を襲った大震災により、当日の大会実施を見送りました。

この度、2015年に、解剖・生理合同大会を開催すべく、鋭意準備を進めています。

もともと、私たちの身体にとっては解剖学も生理学も明確な線引きがあるわけではなく、両者の学問体系は便宜的に分けられたものであり、身体をそれぞれの異なる視点から究明しようとしてきました。そういう意味で、両学会の合同大会の開催は必然性を持っています。

学会は、研究、教育に携わる人々によって成り立っていますので、その構成員の文化的背景がありますが、今回、これらのことを考慮しつつ、新たな融合サイエンスを違った形でとらえ直し、両学会のこれからの方向性を考えたいと思います。

合同大会開催は、創生的な企画、プログラムをもとに、21世紀の科学を模索し、「からだ」というまだまだ未知の世界へ、フロンティア精神を発揮し、知り、深め、極める第一歩です。

本大会の会員のみならず皆様方に満足していただける学術集会になるよう、出来る限り自助努力で運営してまいります。昨今の経済情勢を考えますと、経費面におきまして厳しい状況でございます。

つきましては、別添の通り、協賛・募金趣意書をお送りいたします。本大会の意義に何卒深いご理解とご賛同をいただき、ご支援くださいますようお願い申し上げます。

末筆になりましたが、貴社のますますのご発展を心よりお祈り申し上げます。

謹白

平成26年4月吉日

第120回日本解剖学会総会・全国学術集会会頭 河田光博
(京都府立医科大学 大学院医学研究科 解剖学教室 生体構造科学部門)

第92回日本生理学会大会大会長 岡村康司
(大阪大学大学院 医学系研究科 生理学講座 統合生理学教室)

開催概要

- 会議名称 : 第120回日本解剖学会総会・全国学術集会 第92回日本生理学会大会 合同大会
- テーマ : からだのフロンティア ～知る・深める・極める
- 会 期 : 2015年(平成27年)3月21日(土)～23日(月)
- 会 場 : 神戸国際会議場及び展示場1号館2階
- 参加者数 : 約2,500名
- 解剖学会会頭 : 河田 光博 京都府立医科大学 教授 (大学院医学研究科 解剖学教室 生体構造科学部門)
- 生理学会大会長 : 岡村 康司 大阪大学 教授 (大学院医学系研究科 生理学講座 統合生理学講座)
- 組 織 :
 - 解剖学会副会頭 : 横山 尚彦 京都府立医科大学 教授 (大学院医学研究科 解剖学教室生体機能形態科学部門)
 - 解剖学会副会頭 : 小野 勝彦 京都府立医科大学 教授 (大学院医学研究科 生物学教室神経発生生物学部門)
 - 生理学会副大会長 : 北澤 茂 大阪大学 教授 (大学院医学系研究科 生理学講座脳生理学)
 - 生理学会副大会長 : 前田 正信 和歌山県立医科大学 教授 (大学院医学研究科 統合分子生理学)
 - 財務委員長 : 島田 昌一 大阪大学 教授 (大学院医学系研究科 解剖学講座神経細胞生物学)
 - 解剖学会事務局長 : 松田 賢一 京都府立医科大学 准教授 (大学院医学研究科 解剖学教室生体構造科学部門)
 - 生理学会事務局長 : 澤井 元 大阪大学 准教授 (大学院医学系研究科 生理学講座統合生理学)
- 【プログラム委員】
 - 解剖学会委員長 : 原田 彰宏 大阪大学 教授 (大学院医学系研究科 解剖学講座細胞生物学)
 - 副委員長 : 寺田 純雄 東京医科歯科大学 教授 (大学院医歯学総合研究科 神経機能形態学)
 - 生理学会委員長 : 前田 正信 和歌山県立医科大学 教授 (大学院医学研究科 統合分子生理学)
 - 副委員長 : 金井 好克 大阪大学 教授 (大学院医学系研究科 薬理学講座生体システム薬理学)
 - 生理学会大会顧問 : 大森 治紀 京都大学 教授 (大学院医学系研究科 神経生物学)
- 開催目的 : 解剖学会と生理学会はそれぞれ日本で最初と3番目に創設された歴史と伝統ある医学会であり、毎年開催される全国的学術集会は基礎医学の研究と教育の発展に長らく別々に貢献してきました。基礎医学の両輪をなす両学会は、この度「からだのフロンティア ～知る・深める・極める」というスローガンのもとに合同で学術集会を開催します。両会員が最新の研究成果を発表・討論し合うシナジー効果によって、基礎医学の流れの上に新しい生命科学を生みだし、さらには若い研究者、学生の探求心を大いに刺激することを目的としています。この合同開催は2011年3月に初めて行われる予定でしたが、大会直前に東日本大震災に見舞われたために、実施が見送られ紙上開催に終わりました。今回、阪神淡路大震災から復興を遂げた神戸の地で合同大会開催を実施することは両学会の悲願であります。魅力的なプログラムを編成して、参加者にとって有意義な学会にするとともに、医学・歯学・看護・介護などのコメディカルの幅広い分野において、科学リテラシーの高い医療従事者全般の育成にも寄与したいと考えております。

開催概要

■ 日程表(予定) :		3月21日(土)
午前		解剖学会会頭シンポジウム、プレナリーセッション、 解剖学と外科手術手技研修、シンポジウム、ランチョンセミナー
午後		生理学会大会長シンポジウム、合同日中シンポジウム、 基礎医学者育成MD-PhD学生シンポジウム、 合同若手の会シンポジウム、シンポジウム、一般演題(ポスター)
		3月22日(日)
午前		解剖奨励賞講演、プレナリーセッション、 シンポジウム、ランチョンセミナー
午後		教育プログラム、解剖学会総会、生理学会総会、 合同日韓シンポジウム、合同男女共同参画シンポジウム、 シンポジウム、一般演題(ポスター)
		3月23日(月)
午前		解剖学会会頭シンポジウム、プレナリーセッション、教育プログラム シンポジウム、ランチョンセミナー
午後		生理学会大会長シンポジウム、合同研究倫理シンポジウム 教育プログラム、シンポジウム、一般演題(ポスター)

- 主なプログラム (予定) : 解剖学会会頭シンポジウム、生理学会大会長シンポジウム、プレナリーセッション、教育プログラム、公募シンポジウム、学部生シンポジウム(基礎医学研究者育成プログラム)、合同日中シンポジウム、合同日韓シンポジウム、合同日独シンポジウム、他学会連携シンポジウム、合同若手の会シンポジウム、合同男女共同参画シンポジウム、合同研究倫理シンポジウム、解剖奨励賞講演、解剖学会総会、生理学会総会、解剖学と外科手術手技研修、解剖シニアクラブ、一般演題(ポスター)、ランチョンセミナー、市民公開講座、など

- 展示・各種広告・セミナー共催・寄附金を必要とする理由 :

本大会を開催するにあたり、できるだけ簡素、質素に運営し、経費は参加費収入を主とする所存ですが、合同開催による規模の拡大のため、これまでの単独開催のように大学施設や公共施設を利用した開催が難しく、必要経費をまかなえる状況にはありません。大会の内容を充実させることにより、参加者数を増やし、研究・教育の成果をあげるためには、各方面からのご支援ご協力を仰がざるを得ないのが実情です。つきましては、本大会の趣旨にご賛同いただき、なにとぞ格段のご配慮を賜りたくお願い申し上げます。

- 本学会に関するお問合せ先

【大会事務局】

《解剖学会事務局》: 京都府立医科大学 大学院医学研究科 解剖学教室 生体構造科学部門
〒602-8566 京都市上京区河原町通広小路 上る梶井町465番地
TEL:075-251-5301 FAX:075-251-5306

《生理学会事務局》: 大阪大学 大学院医学系研究科 生理学講座 統合生理学教室
〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2-2
TEL:06-6879-3311 FAX:06-6879-3319□

【運営事務局】

日本コンベンションサービス株式会社 関西支社
〒541-0042 大阪市中央区今橋4-4-7 京阪神淀屋橋ビル2階
TEL:06-6221-5933 FAX:06-6221-5938
E-mail:kaibo-seiri2015@convention.co.jp

プログラム概要

主なプログラムの特色

■プレナリーセッション

本セッションは、ノーベル賞受賞候補級の研究者を招待し、ご講演いただく企画です。今回、ご多忙のなか、下記の外国人2人と日本人3人にご講演いただくことになりました。

Charles Zuker 博士 (米国・コロンビア大学)

様々な分野の最先端技術を縦横に駆使し、これまで未開拓だった味覚情報処理のメカニズムについて次々と驚くような研究報告を行っています。特に、味蕾の味覚受容細胞に存在する化学受容体を明らかにし、5種類の味物質の刺激がどのように味覚信号を発生させるのかを明らかにした功績は、嗅覚研究でノーベル賞を受賞したR. Axel 博士とL. Buck 博士の業績に匹敵すると言えるでしょう。

坂野 仁 博士 (東京大学・福井大学)

分子免疫学の分野で抗体遺伝子の仕組みについて画期的な研究をされた後、神経系の研究に移り、分子生物学・遺伝学的手法を駆使して研究を行っておられます。単一の嗅上皮細胞が単一の嗅覚受容体のみを選択的に発現する遺伝子調節機構、嗅上皮細胞から中枢神経への軸索投射の分子機構を明らかにし、嗅覚と関連する行動や記憶の神経機構についても重要な発見をされています。

Wolfgang Baumeister 博士 (ドイツ・マックス・プランク研究所)

分子構造生物学の世界的権威で、cryo electron tomography等の最先端可視化技術を用い、細胞・組織内でのマクロタンパク質の構造やタンパク間相互作用の解析で、画期的な研究を展開されています。

藤吉 好則 博士 (名古屋大学)

極低温電子顕微鏡を自ら開発し、これまで構造解析が困難であったアセチルコリン受容体チャネルやアクアポリンなどの膜機能タンパクの分子構造を高分解能で明らかにし、構造生物学から生理学への新たな研究の道筋を示されてきました。

大隅 良典 先生 (東京工業大学)

細胞が自己の蛋白質を分解・自食する機構「オートファジー」に関わる遺伝子を世界で最初に同定され、その後も分子メカニズムや生理学的な機能について成果を挙げられ、2006年には日本学士院賞を受賞されています。

Zuker博士と坂野博士、Baumeister博士と藤吉博士の講演は、それぞれペアを組む「プレナリーセッション」の形式で行います。これにより深く活発なセッションを目指しています。

■教育プログラム

解剖学と生理学は基礎医歯学教育の根幹をなしており、保健・福祉系のいわゆるコメディカルの方々にとっても必須の科目であります。さらに、近年の『根拠に基づく医療』を実践する上で、両学会が協力・連携して基礎医学教育の質をさらに向上させることが多方面から望まれているところです。

そこで今大会では、大学や専門学校で解剖学・生理学を講義する若い教員を主な対象に、モデル講義や教育講演などの合同教育プログラムを2日間にわたって行います。

■公募シンポジウム

これまでの年会でも両学会は会員から広く企画を募集し、話題のテーマや目覚ましい展開を遂げる領域を俯瞰できるシンポジウムを開催してきました。今回は2学会が密に連携してプログラムを作成し、両学会員が提案者で両学会員のシンポジストからなる最先端のライフサイエンス分野をカバーするような学際的シンポジウムを開催します。

■他学会連携シンポジウム

将来の学会間の連携を視野にいれて、解剖学会・薬理学会・生理学会の基礎医学3学会が連携し、合同シンポジウムを行います。それ以外にも他学会と連携したシンポジウムを積極的に開催します。

■学部生シンポジウム(基礎医学研究者育成プログラム)

医学部生に早期から基礎医学研究に従事し、将来のリーダ的研究医を育成させるための教育プログラムが文部科学省の支援により実施されています。このMD研究者育成プログラムに参加している4大学(東大、京大、阪大、名大)を中心として、研究を行っている医学部生100名程度を本合同大会に参加して貰い、最先端の研究成果に触れる機会を提供すると共に、自らの研究成果を発表し、将来の研究医を目指したトレーニングの経験を積んで貰います。

■その他合同シンポジウム

これ以外に、研究倫理や男女共同参画推進など、基礎医学研究と教育をとりまく重要な問題について、両学会が共同で議論を行う場を設けます。

収支予算概要

(収入)

(単位 千円)

項 目	金 額	摘 要
自己資金		
参加費	25,220	参加費：会員13,000円×1500名、非会員15,000円×300名、博士他5,000円×244名
懇親会参加費	1,950	懇親会会費：一般6,000円×300名、博士・修士：3,000円×50名
協 賛 金		
共催セミナー開催費	7,400	1枠80万円×9社、冠シンポジウム1枠20万×1社
展示出展料	10,000	基礎小間20万円×50枠
広告掲載費（プログラム集広告）	1,630	表4・表3・表2それぞれ1枠、後付10枠、後付1/2：10枠
広告掲載費（HPバナー）	500	10万円×5枠
広告掲載費（アプリバナー）	500	10万円×5枠
寄 附 金・助 成 金		
中内力コンベンション振興財団助成金	1,950	
神戸国際観光コンベンション協会	2,000	
日本製薬団体連合会	6,000	
その他企業	4,000	
合 計	61,150	

(支出)

項 目	金 額	摘 要
会場費用	7,000	神戸コンベンションセンター使用料 会期3日間+準備日1日
会場付帯設備費	4,600	AV設備など
運営準備費	4,000	計画・工程表の作成、打合せなど
講演者招聘費	3,200	米・独からのノーベル賞級著名研究者の招聘など
企業協賛	2,800	趣意書作成、依頼申込、取りまとめ作業など
飲食会合費	5,500	招待者対応、全員交流会費
プログラム編成	1,050	演題登録の問い合わせ対応、座長依頼・打合せ対応
市民公開講座	2,000	市民へのアウトリーチ活動としての公開講座
事前登録関係費	1,250	参加登録者の参加費振込確認と催促連絡など
制作費	6,000	登録用HPの制作、広報用ポスター・プログラム集・アプリ制作など
通信費	1,200	郵送費
運営要員関係費	3,200	会場スタッフ、機材操作者・受付スタッフなどの人件費
機材関係費	5,350	PC一式2セット×9会場、試写・受付事務用PC一式8セット（オペレーター人件費を含む）
看板・ポスタ・展示施工関係費	8,800	吊看板、立看板、誘導板、ポスターパネル、機器展示用ブース（設営費を含む）
業務委託費	1,900	コンベンション業者
会場レイアウト変更費など	380	机、椅子のセッティングと終了後の現状復帰作業
その他	2,600	運営準備のための会議開催経費、交通費など
予備費	320	
合 計	61,150	

付設展示会出展要項

■出展対象

- ・研究機器
- ・医療機器
- ・医療情報機器、システム
- ・書籍他
- ・研究試薬
- ・検査機器
- ・解剖学/生理学教育機材
- ・医薬品

■出展料金

種類	単位	小間サイズ	出展料金(税込予定)
基礎小間	1小間	1.62㎡(W1.8m×D0.9m×H2.4m)	¥200,000
書籍展示	1社	長机1.62㎡(W1.8m×D0.9m) 5台	¥50,000 5台未満の場合は1台につき ¥10,000

■募集小間数

50小間

■展示小間割の決定

大会事務局で決定します。

■出展物

出展対象に記載された範囲のもの、及び当方の認めたものとします。

■薬事法未承認品の展示について

運営事務局にお問い合わせください。

■外国出展物

展示場は、保税展示場とはいたしません。海外からの出展物は、国内貨物として出展するか、またはATAカルネの制度をご利用ください。
詳細は、運営事務局にお問い合わせください。

■出展者へのご案内

出展者説明会は行いません。開催の1カ月前までに小間割、搬入、装飾、管理などについて詳細をご連絡いたします。什器・照明器具などのリースもこの時にご案内いたします。

■出展物の販売の禁止

会期中現金と引き換えに出展物を引き渡すことは禁止いたします。
但し、当方の認めたものは、限定的に許可する場合があります。

■会場の管理

会場及び出展物の保全については、最善の保護と管理にあたりますが、天災その他の不可抗力による事故、盗難、紛失、及び小間内における人的災害の発生については責任を負いません。

■会場・会期・開場時間の変更

やむを得ない事情により会場、会期及び開場時間を変更する場合があります。
この変更を理由として出展申込みを取り消すことは出来ません。またこれによって生じた損害は補償いたしません。

■本大会学術プログラムへの参加資格について

参加資格はございません。学術プログラムに参加希望の方は運営事務局までお問い合わせください。
但し、展示会場内への出展者の入場制限はございません。

小間設置概要

■搬入・設置(予定)

2015年3月20日(金) 13:00～

※装飾についても上記時間にて行ってください。

■搬出・撤去(予定)

2015年3月23日(月) 16:00～

■小間規格

基礎小間

1小間=間口1.8m×奥行0.9m×高さ2.4m

・間仕切りの後壁(いずれもベニヤ加工紙貼り仕上)

・社名板

・蛍光灯

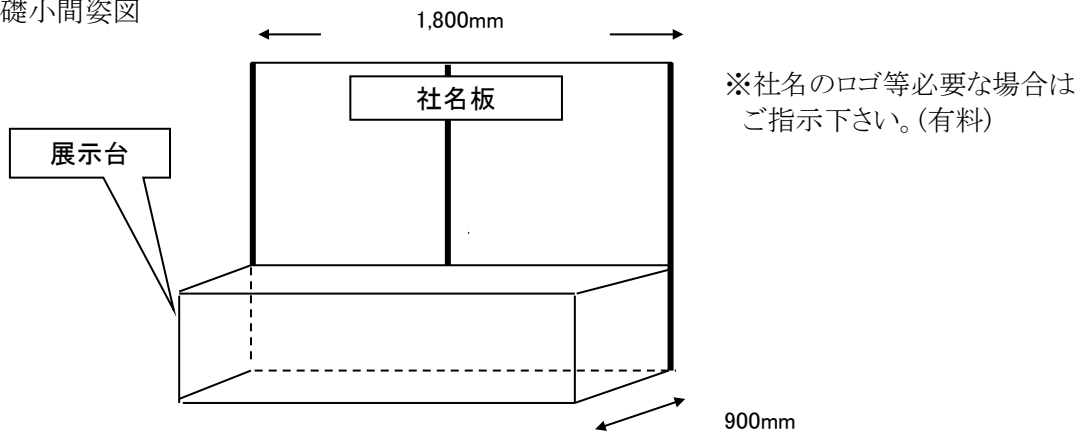
・展示台1台(W1800×D900)、白布付き(但し商品の上にかけるクロスはご持参下さい)

以上の物は当方で設置致します。上記以外の小間内装飾は、出展者が行って下さい。

※ スペース小間をご希望の方は、運営事務局まで別途お問い合わせください。

左右が他のブースと隣接している場合、白経表装袖パネル(w900×H2400)を事務局にて設置いたします。

基礎小間姿図



■禁止事項

装飾物、展示物の高さは、2.5mに制限します。ただし、やむを得ず越える場合、大会事務局の承認を必要とします。

また、床面への直接工作(ガムテープ、アンカー等)も原則的には禁止いたします。

■電気

出展者の希望により、有償で電気(交流単相二線式100V60ヘルツ)を開閉器にて小間まで供給いたします。

(それ以外の特殊電源に関しては別途ご相談ください。)

■給排水

水、プロパンガス、圧縮空気の使用は、原則的に禁止いたします。

出展申込方法

■ 申込方法

本案内添付の「付設展示会 出展申込書」に所定の事項を記載のうえ、下記宛てにFAXにてお申込みください。
お手数ですが、お申込みを希望されない場合も、FAXにてご連絡いただきますようお願い申し上げます。

■ お問合せ・申込先

第120回日本解剖学会総会・全国学術集会 第92回日本生理学会大会 合同大会 運営事務局
日本コンベンションサービス株式会社 関西支社 担当:伊藤・富永
〒541-0042 大阪府中央区今橋4-4-7 京阪神淀屋橋ビル2階
TEL:06-6221-5933 FAX:06-6221-5938
E-mail:kaibo-seiri2015@convention.co.jp

■ 申込締切

2014年12月26日(金)

但し、募集小間数に達し次第、申込みを締め切ります。

■ 出展料のお支払い

申込締切後、請求書をお送りしますので、平成27年2月末日までに指定口座(請求書に記載)にお振込みください。

■ 出展申込みの取り消し

2015年1月1日以降の取り消しについては、一切お受けできませんので予めご了承ください。

第120回日本解剖学会総会・全国学術集会
 第92回日本生理学会大会 合同大会
 付設展示会 出展申込書

申込み年月日	平成 年 月 日
貴社名	
代表者名	(役職)
ご担当所属	
ご担当者名	
ご連絡先	〒
	TEL: _____ FAX: _____
	E-mail: _____
	URL: _____
申込みタイプ	基礎小間・書籍展示
申込み小間数 (書籍展示の場合は 希望の机本数)	¥ _____ × 小間・台 = ¥ _____
出展物 (予定)	
※下記も必ずご記入ください。	
展示台	
電気	使用する(_____ Kw)・使用しない・未定
その他、ご要望ございましたら、ご記入ください。	